

科目名	経済政策学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			経済学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Policy of Economy	開講年次	□ 1年 □ 2年 ■ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	□ 対面のみ □ 遠隔のみ ■ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	日本経済の再興と第4次産業革命への対応			
到達目標	日経新聞が読解できる。			
授業概要	アベノミクスによりデフレスパイラルからの脱却は目前に迫っている。その一方で、世界は大変革の時代を迎えようとしている。日本はその変革とは何か、そしてその変革に対応できるのだろうかを解き明かす。			
授業計画				
第1回	日本の置かれている状況把握～2024年世界経済見通し			
第2回	リーマンショックとは何だったのか～世界経済のバブル崩壊と日本経済の停滞の理由			
第3回	欧米・日本などの先進国の停滞と中国・インド・ロシアなどの新興国の台頭と没落			
第4回	円高と主要産業の国際競争力の喪失～日本経済がデフレに陥った理由と金融政策の失敗			
第5回	先進国による超金融緩和政策と産業構造改革～世界的なサプライチェーンの構築とその脆弱性			
第6回	中国をはじめとする新興国金融市場の脆弱性～エマージェンシー市場の実態と前近代的金融政策			
第7回	原油価格等資源価格の下落と日本のエネルギー政策～脱炭素政策とコモディティ市場の変化			
第8回	行き詰まる中韓経済～米国の経済安全保障政策・米中ディカップリング・対中包囲網			
第9回	第4次産業革命とは何なのか～IoT AI BD シンギュラリティについての基礎知識			
第10回	ポストアベノミクスとしての第4次産業革命～今後5年間でAIはここまで進む			
第11回	グローバルイノベーションと日本の科学技術政策～日本経済の複雑性			
第12回	米国の金融財政政策とFRBの過去の選択ミス～もはや世界はシステミックリスクの発生に備える必要			
第13回	中国経済の黄昏と日本化～バブル経済の終焉・需要の不足・不良債権の処理・融資平台			
第14回	ウクライナ侵攻がもたらすロシア経済の破綻～経済制裁がロシア経済に与える影響			
第15回	2025年世界経済の行方を展望する～AIと日本の半導体戦略の行方と展望			
第16回	期末試験			
授業時間外の学習	予習復習の徹底、ポータルサイトに目を通しておくこと			
履修条件 受講のルール	経済の基礎的な知識を有すること			
テキスト	レジュメをポータルサイトにアップダウンロードして授業に使用 PC必携			
参考文献・資料	追って連絡します			
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。			
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日			
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	日本政策投資銀行とのネットワークを活かした最新の情報を提供する。			
学生への メッセージ	安保リテラシーを高めることが喫緊の課題となってきました。			